



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 ピー・シー・エー株式会社

コード番号 9629 URL <http://www.pca.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 水谷 学

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長

(氏名) 佐藤 文昭

TEL 03-5211-2711

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,084	13.8	225	22.1	245	18.4	48	△54.5
23年3月期第2四半期	2,709	1.6	185	△17.5	207	△18.1	106	△13.2

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 59百万円 (△35.5%) 23年3月期第2四半期 92百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	7.08	—
23年3月期第2四半期	15.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	13,890	11,068	78.9	1,598.59
23年3月期	14,277	11,213	77.8	1,621.15

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 10,954百万円 23年3月期 11,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	31.00	31.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	31.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,505	5.5	486	△29.2	515	△28.9	191	△57.0	27.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成23年10月31日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	7,700,000 株	23年3月期	7,700,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	847,233 株	23年3月期	846,617 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	6,852,987 株	23年3月期2Q	6,854,028 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいております。予想に内在するさまざまな不確定要因やこの後の事業運営における内外の状況等の変化により、実際の業績は見通しと異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、3.11「東日本大震災」による大きな経済的ダメージが予想されたものの、企業各社の懸命の復旧作業により、サプライチェーンの早期復旧がなされ、回復傾向に向かっております。一方で、ギリシャの信用不安に端を発する世界経済の不安定化により、輸出関連企業を中心に景気の停滞感が蔓延してきました。また、大震災後の被災地区においては、復旧・復興へ急角度でかじ取りをしておりますが、雇用不安もある中で、本格的な復旧・復興へはまだまだ長い年月がかかると予想されます。

情報サービス産業においても、「東日本大震災」の影響を多分に受け、特にハードメーカー各社では被災地区の工場の復旧に全力を挙げ、立て直しを図ってきました。そのため、サーバ・クライアントPC等のハード系の出荷も遅れはありますが、順調に市場に供給されるようになってまいりました。反面、円高等、世界経済不安定化の影響は徐々にIT投資に影を落としはじめ、案件の先送り、長期化を招いております。

当該期間における当社の業績については、「新規製品」売上および「バージョンアップ製品」売上が継続して好調で、主力製品であるXシリーズの『人事・給与』ソフトの発売の遅れがありましたが、リーマンショック前年の水準を超えるレベルまで回復してまいりました。また、当社の強みである業種特化型製品の『公益法人会計』ソフトは、認定認可移行期の3年目にあたり、各社団・財団法人が会計システムの見直しに着手し始め、これらの売上は業績に大きく貢献いたしました。『社会福祉法人会計』ソフトについても来年4月の制度改正を控え、各社会福祉法人が会計システムの見直しに動き始め、当下半期には業績に大きく貢献すると予想されます。

「PCA for SaaS（サース＝サービス型ソフトウェア）」は、PCAのクラウドサービス（＝インターネット上で業務アプリケーションなどを自由に活用するサービス）の本命として位置付けております。「東日本大震災」以降、TCO（＝コンピュータシステムの運用・管理等の総コスト額）だけではなく、業務データの保全性を考慮したBCP（ビジネス・コンティニュエィー・プラン/事業継続計画）を意識した顧客からの申し込みが急増しております。また申し込み顧客の半数近くが新規顧客であり、TCO、BCPの両面に敏感な顧客が、PCAのクラウドサービスを評価していただいていることは明らかであります。業績も前年同期比で倍増となり、今後最も期待できる商材であることを確信しております。

ストックビジネスの核である「保守契約」売上や当社製品を補完する「ソリューション製品」売上は堅調に推移しており、業績を支える大黒柱となっております。

連結対象会社の株式会社マックスシステムは「医療系情報システム」ベンダーであり、医事会計（レセプトシステム）、電子カルテ、オーダーリングシステム等医療系基幹システムの開発・販売を行っており、当社の連結業績に寄与しております。株式会社ケーイーシーは、当社製品の導入指導、運用保守、ネットワーク環境構築等の事業を主体としており、これも当社の連結業績に寄与しております。また本年5月、LSIジャパン株式会社からの事業譲渡を受け設立したクロノス株式会社は、就業管理システムおよびタイムレコーダーの開発・販売を行っており、当社の連結業績拡大へ貢献しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高3,084百万円（前年同期比13.8%増）、営業利益225百万円（前年同期比22.1%増）、経常利益245百万円（前年同期比18.4%増）、四半期純利益48百万円（前年同期比54.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期における財政状態（連結）の変動状況におきましては、当社グループの財政状態に重要な影響を及ぼすような事象等の特段の記載を要するものはございません。

総資産は、法人税等の支払などにより、前連結会計年度末に比べ387百万円の減少となりました。

純資産は、剰余金の配当等により、（同）144百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、本日（平成23年10月31日）開催の取締役会において、当社クラウドビジネスの拡販戦略を強化するため、平成24年3月期中にテレビコマーシャルを含む広告宣伝を本格展開する旨の予算修正決議をおこなったことから、平成23年5月12日公表の通期連結業績予想を修正致しました。

詳細につきましては、本日（平成23年10月31日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

(退職給付引当金)

退職給付に係る会計処理は、前連結会計年度において、退職給付債務の計算を簡便法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間から原則法により計算する方法へ変更しております。

この変更は第1四半期連結会計期間における当社の退職給付計算の対象となる従業員数が300人を超えたためです。この変更に伴う退職給付債務の増加額133百万円を特別損失に計上しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,969	5,283
受取手形及び売掛金	1,001	837
有価証券	19	—
たな卸資産	4	26
繰延税金資産	641	594
その他	65	74
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	7,700	6,815
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,436	1,427
土地	2,794	2,794
その他（純額）	40	51
有形固定資産合計	4,271	4,272
無形固定資産		
のれん	152	510
その他	66	83
無形固定資産合計	219	594
投資その他の資産		
長期預金	1,200	1,200
その他	889	1,011
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	2,086	2,207
固定資産合計	6,577	7,074
資産合計	14,277	13,890
負債の部		
流動負債		
買掛金	126	99
前受収益	1,244	1,161
未払法人税等	179	100
賞与引当金	144	156
役員賞与引当金	12	10
その他	497	352
流動負債合計	2,204	1,882
固定負債		
長期前受収益	62	82
長期未払金	187	179
退職給付引当金	406	565
役員退職慰労引当金	203	111
固定負債合計	859	939
負債合計	3,063	2,821

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	890	890
資本剰余金	1,919	1,919
利益剰余金	9,398	9,234
自己株式	△1,037	△1,037
株主資本合計	11,170	11,006
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	△60	△51
その他の包括利益累計額合計	△60	△51
少数株主持分	103	114
純資産合計	11,213	11,068
負債純資産合計	14,277	13,890

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	2,709	3,084
売上原価	926	1,005
売上総利益	1,782	2,079
販売費及び一般管理費	1,597	1,853
営業利益	185	225
営業外収益		
受取利息	12	6
受取配当金	0	1
受取賃貸料	8	8
その他	1	4
営業外収益合計	23	21
営業外費用		
固定資産除却損	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	1
経常利益	207	245
特別損失		
退職給付費用	—	133
特別損失合計	—	133
税金等調整前四半期純利益	207	112
法人税、住民税及び事業税	148	91
法人税等調整額	△48	△30
法人税等合計	100	61
少数株主損益調整前四半期純利益	107	51
少数株主利益	0	2
四半期純利益	106	48

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	107	51
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	8
その他の包括利益合計	△14	8
四半期包括利益	92	59
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91	57
少数株主に係る四半期包括利益	0	2

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。